

1月24日(日)開催 第2927回例会

単独例会

「ヒヨコ六甲全山縦走・第50回記念大会/ トレーニング・パートⅠ」に参加して

感想文/唐櫃支部 F・K

写真/布引支部 R・M

前日の予報では、日本の上空に非常に強い寒気が入って冬型の気圧配置が強まり、北陸から西日本を中心に風が強く大雪になる・・・とのことで参加を躊躇していたが、気温はかなり低いものの天気は意外と穏やかで雪も降っていないので参加を決意。有馬温泉 8時半の集合には元気な会員が大勢集われていた。

例年のトレーニング会は、1月に西半分(塩屋~再度大龍寺)、2月に東半分(新神戸~宝塚)、そして3月の本番を迎える・・・が通例とのことであったが、今年は記念すべき50回!ということもあり、前半のトレーニングは有馬温泉から静かな有馬三山を縦走し表六甲へ下る・・・という興味ある山歩きコースであった。

当初予定のコースを短縮し、妙見宮参詣道より入山。今冬一番の冷え込みであるも、風がないのが救われる。有馬温泉駅の標高が357Mあるので僅か180M足らずの登りではあるが、歩き始めは何時ものことながらシンドイものだ!



落葉山(533M)妙見寺にて・・・先ずは一休み!

四等三角点の石標を右に確認し、灰形山を目指す。本コースでは一番足元の悪い痩せ尾根をクリアし、勾配のキツイ尾根を登ると619Mの灰形山頂である。



灰形山頂上(619M)にて2回目の小休止

灰形山からは一旦下り、鞍部に出るとそこから三山で一番つらい湯槽谷山への登りが待っている。植林帯の中をひたすら登る。ここまで来ると昨夜ちらついたのか、雪が目につきだした。傾斜のキツイ丸太の階段をひたすら登り、いい加減飽きてくるころやっと湯槽谷山のピーク(801M)へ着いた。



長が〜い植林帯の登り・・・声が出ないね!

山頂では我々後続組が到着するまで待機してくれており、全員そろって出発となった。

湯槽谷峠までの下りは結構急で、足元を注意しながら下る。せっかく登ったのに、又下るのか・・・と恨めしく思いながらの歩行である。湯槽谷峠の標識を過ぎ、緩やかな登りになると番匠畑尾根の始まりとなる。

番匠畑尾根の途中にも三角点があり、ロープウエーの鉄塔下をくぐり、目指す極楽茶屋は未だかなり高い位置だ!・・・いい加減にしてほしいな〜・・・と思いながらひたすら登っていきと、やっと、小川谷への分岐へ出た。

極楽茶屋跡はすぐそこなので、陽だまりになっているこの場所で昼食の指示が出た。



陽だまりの中、思い思いに昼食を楽しむ!

陽が欠けてくると流石に寒い!すばやく集合し、記念の集合写真に納まった。



元気な 38 名、全員集合で～す！

さてトレーニングの後半は一気に気温が上がった六甲山地の南面。石切道の予定を変更して、油コブシ道を賑やかに下山した・・・。



油コブシの間にて最後の休憩。

今回は昔の紳士淑女？だけの参加でなく、若い青年男女会員が多く参加されていたので明るい雰囲気にも包まれたトレーニング例会であった。